

平成24年度

施策評価マネジメントシート(平成23年度の実績評価)

記入年月日

平成 24 年 6 月 18 日

施策No.	政策名	市民と行政による豊かな地域の自治づくり	主管課	企画課	主管課長名	横田 藤彦
106	施策名	広域行政の推進	関係課	秘書広報課、生活安全課、生涯学習課、都市整備課、環境対策課、商工観光課、健康推進課		

1. 施策の目的と成果把握

目	施策の対象	対象指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	他自治体		①地域連携している自治体数	団体	見込値			4	4	4	4	4
実績値					4	4	4					
見込値												
実績値												
的	施策の意図	成果指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	相互協力による行政サービスの提供や地域連携が図られる。	①広域の自治体が共同で行っている行政サービスに満足している市民の割合	%	目標値			70.2	77.0	77.0	77.0	80.0	80.0
実績値				72.3	76.6	69.4						
②広域の自治体が共同して行っている行政サービス数		件	目標値			9	9	9	9	9	9	
			実績値	10	10	9						
③相互連携している事業数		件	目標値			3	3	3	3	3	3	
			実績値	3	3	3						
				目標値								
				実績値								
成果指標設定の考え方		・広域の自治体が共同して行っているサービスに対する成果指標は、①市民の利用満足度及び行政サービスの事業数でみる。(筑西広域市町村圏事務組合:筑西市、結城市、桜川市) (筑北環境衛生組合:笠間市、桜川市) (県西総合病院組合:筑西市、桜川市) ・また、③相互連携している事業数(義士親善、報徳研究会、防災協定数)が維持されれば、相互連携が保たれていると考える。										
成果指標の把握方法と算定式等		・対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ・共同処理している行政サービスの数は、消防、救急、ごみ処理、火葬場、遊湯館、県西運動公園、筑西地域職業訓練センター(筑西広域市町村圏事務組合)、し尿処理(筑北環境衛生組合)、病院(県西総合病院組合)										

2. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	1)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民や地域、行政と協働でやるべきこと)	2)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
	○筑西広域市町村圏事務組合をはじめ、桜川市が加盟する広域行政組織の運営状況に関心を持つ。 ○周辺自治体の住民と連携し、地域の活性化に努める。 ○友好都市との市民レベルでの文化交流や経済交流に努める。	○筑西広域市町村圏事務組合をはじめ、桜川市が加盟する広域行政組織の運営状況について、適切な情報提供に努める。 ○広域行政組織の運営に積極的に関与する。 ○友好都市との文化交流や経済交流に努める。
状況変化	3)施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?	4)この施策に対して住民、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	○市町村合併により、広域で実施する事務の形態の見直しが課題となっている。 ○中核病院の整備検討が進んでいる。 ○消防の広域連携についても提案されている。 ○福祉センター「あまびき」が平成23年度から廃止された。	○市民アンケートの満足度優先度調査から、満足度はかなり高く、優先度は比較的高い位置づけがある。

3. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 広域市町村圏事業の推進	一部事務組合	相互協力による行政サービスが提供されている	広域の自治体が共同して行っている行政サービス数	実績値							
				件	10	9					
② 他自治体との連携強化	相互連携協定等を結んでいる自治体 地域連携をしていない自治体	相互協力により地域連携が図られる。	相互連携している事業数	実績値							
				団体	3	3					
③				実績値							

4. 施策のコストの実績(施策を構成する事務事業シートより積算)

	項目	単位	22年度実績	23年度実績	24年度予算
施策のコスト	①本施策を構成する事務事業の数	件	19	19	19
	②施策事業費(一般財源以外)	千円	0	0	
	③施策事業費(一般財源)	千円	132,395	132,911	104,768
	④施策事業費の計(②+③)	千円	132,395	132,911	104,768
	⑤施策人件費(事務事業の人件費合計)	千円	11,511	12,333	1,894
	⑥計(④+⑤)	千円	143,906	145,244	106,662

5. 施策に関連する主要事業等

関連する事務事業	区分	事務事業名	摘要
	事務事業		義士親善友好都市参画事業
事務事業		全国報徳研究会市町村参画事業	H24年度優先度評価上位、H23年度貢献度評価成績上位

施策番号	106	施策名	広域行政の推進	主管課	企画課
------	-----	-----	---------	-----	-----

6. 施策の成果水準とその背景・要因

1)①現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<p>・筑西広域市町村圏事務組合:3市(筑西市、結城市、桜川市)。筑北環境衛生組合:2市(笠間市、桜川市)。県西総合病院組合:2市(筑西市、桜川市)であり、共同処理している行政サービスの数は、消防、救急、ごみ処理、火葬場、遊湯館、県西運動公園、筑西地域職業訓練センター(筑西広域市町村圏事務組合)、し尿処理(筑北環境衛生組合)、病院(県西総合病院組合)の9事業である。「福祉センターあまびき」については、22年度末を以って事業を終了した。</p> <p>・災害時相互応援協定を東京都板橋区を中心に、12自治体と結んでいる。また、義士親善友好都市加盟自治体の中で25区市町と災害応急対策活動の相互応援協定を結んでいる。</p> <p>・友好都市としては、義士親善友好都市、全国報徳(二宮尊徳)研究会がある。</p> <p>・広域の自治体が共同で行っている行政サービスに満足している市民の割合は、19年度が66.0%、20年度が70.2%、21年度が72.3%、22年度76.6%、23年度が69.4%であり、22年度までは年々上昇していたが、22年度から23年度は7.2ポイント下回った。その要因はスポーツ少年団や老人会等で使用していた「福祉センターあまびき」の廃止によることが一因と考えられる。</p> <p>・満足していない行政サービスについては、満足していないと答えたひとの中で、ごみ処理が22年48.2%、23年33.1%救急事業が22年度45.0%、23年34.4%、火葬場が22年18.9%、23年18.3%、消防事業22年9.2%、23年8.5%で、ごみ処理、救急事業で満足していない割合が高い。ごみ処理については、市内での収集体制に不満があると思われる。救急事業では、受け入れ病院の確定をするまでに時間がかかることが原因と思われるが、前年度と比べると不満度が若干低くなっている。その要因として、23年3月に筑西広域市町村圏事務組合で「茨城県・栃木県・群馬県」の3県によるドクターヘリの広域連携に係る基本協定が締結され、筑西広域管内の救急事業については茨城県ドクターヘリが運行不能な場合、他県のドクターヘリの要請が可能となったことが考えられる。</p>		

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてが上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った
	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> すべての成果指標で目標値を下回った
背景・要因	<p>①広域の自治体が共同で行っている行政サービスに満足している市民の割合は、0.8ポイント下回った。</p> <p>②広域の自治体が共同で行っている行政サービス数と③相互連携している事業数については、目標値通りの成果であった。</p>		

2)他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いか低いのか、その背景・要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり高い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 他の自治体とほぼ同水準である															
	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり低い水準である																
背景・要因	<p>・近隣自治体も、広域自治体で組合を組織しゴミ処理等の事業を行っている。</p> <p>・相互協力による地域連携についても、他自治体と比べほぼ同水準である。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>市町村名</th> <th>人口(人)</th> <th>負担金(千円)</th> <th>1人あたりの負担金(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>筑西広域市町村圏事務組合(桜川市・筑西市・結城市)</td> <td>206,694</td> <td>2,036,387</td> <td>9,892</td> <td>・負担金についてはH22決算データ ・人口はH22.10.1常住人口</td> </tr> <tr> <td>笠間・水戸環境組合(笠間市友部地区・岩間地区、水戸市内原地区)</td> <td>66,579</td> <td>662,520</td> <td>9,950</td> <td>・負担金についてはH21決算データ ・人口はH22.10.1常住人口</td> </tr> </tbody> </table>			市町村名	人口(人)	負担金(千円)	1人あたりの負担金(円)	備考	筑西広域市町村圏事務組合(桜川市・筑西市・結城市)	206,694	2,036,387	9,892	・負担金についてはH22決算データ ・人口はH22.10.1常住人口	笠間・水戸環境組合(笠間市友部地区・岩間地区、水戸市内原地区)	66,579	662,520	9,950	・負担金についてはH21決算データ ・人口はH22.10.1常住人口
市町村名	人口(人)	負担金(千円)	1人あたりの負担金(円)	備考														
筑西広域市町村圏事務組合(桜川市・筑西市・結城市)	206,694	2,036,387	9,892	・負担金についてはH22決算データ ・人口はH22.10.1常住人口														
笠間・水戸環境組合(笠間市友部地区・岩間地区、水戸市内原地区)	66,579	662,520	9,950	・負担金についてはH21決算データ ・人口はH22.10.1常住人口														

3)住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準なのか、同程度なのか、低いのか、その他の特徴は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば高い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待とほぼ同水準である
	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり低い水準である	
背景・特徴	<p>・市民アンケートについては、広域行政組織で行っている行政サービスに満足しますかの間には、満足しているが13.3%、どちらかといえば満足しているが56.1%であり、双方を合わせると69.4%と満足度は高いと思われる。</p> <p>・公共サービスに対して満足していない市民の割合は25.7%で、その内訳は、ごみ処理、救急事業が多く平成20年度以来傾向は変わっていない。</p> <p>・市民アンケートの満足度優先度調査から、満足度はかなり高く、優先度は比較的高い位置づけであり、重点維持項目となっている。</p>		

7. 施策の成果実績に対しての、これまでの主な取り組み(事務事業)の総括

前年度の取組状況と課題	<p>施策成果の向上に貢献した事務事業の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度においては、地域連携をしている自治体(事務組合)を対象に、「既存の広域サービスの効率化を図る」と「友好都市との親善交流を図る」を重点的に取り組んだ。</li> <li>・事務事業貢献度評価結果から、施策の成果向上に貢献した事務事業は「義士親善友好都市参画事業」「全国報徳研究会市町村参画事業」「筑西広域市町村事務組合協議会参画事業(火葬場)」「筑西広域市町村圏事務組合参画事業(議会総務費)」であった。</li> <li>・「義士親善友好都市参画事業」は、兵庫県加東市において交流会議を行った。また一部加盟自治体により災害応急活動の相互応援に関する協定を締結していたことから、東日本大震災の義援金を受け取った。</li> <li>・「全国報徳研究会市町村参画事業」については、二宮尊徳ゆかりの市町村で構成し毎年1回持ち回りで開催している。今年度の全国報徳サミットは当市で開催した。</li> <li>・「筑西広域市町村事務組合協議会参画事業(火葬場)」は、筑西広域圏の3市で分賦金を負担している。</li> <li>・「筑西広域市町村圏事務組合参画事業(議会総務費)」は、関係自治体(桜川市・筑西市・結城市)が、連携して処理することが効率的な事業(消防救急・火葬場・福祉センター)を筑西広域市町村圏事務組合を組織して行っている。</li> <li>・「筑西広域市町村圏事務組合参画事業」のうち(総務費)(消防、救急)(環境センター)(きぬ聖苑)の参画事業では、桜川市及び筑西市、結城市において、滞りないサービスを提供するための運営費を拠出している。</li> <li>・「筑北環境衛生組合参画事業」では桜川市及び笠間市において、滞りないサービスを提供するための運営費を拠出している。</li> <li>・筑西市町村圏事務組合の各事業の内容及び負担金については、構成市の職員による定例幹事会と、構成市の議員による議会において審議を行っている。</li> <li>・県西総合病院については、20年10月に経営改善を目的に経営企画室を設置して、医師・看護師の確保を最優先事項とした経営改善に取り組んでいる。</li> <li>・懸案事項であった「福祉センターあまびき」の運営については、平成23年3月を以って廃止された。</li> <li>・友好都市との文化・経済交流については、「義士親善友好都市」、「災害時相互応援協定自治体」、「全国報徳研究会」がある。23年度義士サミットが兵庫県加東市で、報徳研究会は桜川市で開催された。</li> </ul>
-------------	---

8. 今後の課題と次年度の方針(案)

区分	今後の課題	次年度の方針(案)
施策全体	・筑西広域市町村圏事務組合の分賦金(運営負担金)については、各自治体は厳しい財政状況により、より効率的、効果的な事業運営を求められている。	・市民生活圏の拡大、市民ニーズの高度化・多様化に対応するため、これまで一部事務組合で実施してきた消防・ごみ処理・し尿処理・病院等について、引き続き広域的な自治体連携により実施します。 ・災害時防災協定についても連携体制の強化を図ります。
基本事業	①広域市町村圏事業の推進 ・筑西広域市町村圏事務組合の分賦金(運営負担金)については、各自治体は厳しい財政状況により、より効率的、効果的な事業運営を求められている。	関係自治体と連携し、既存の広域事業の経費削減に努め、効率化を図ります。また、行政運営の効率性の観点から、新たな事業について広域連携を検討します。
	②他自治体との連携強化 災害時の応援協定など、連携協力体制の強化が求められている。	友好都市との親善交流に努め、災害時の応援協定など、連携協力体制を強化します。また、新たに他自治体とのネットワークづくりを進めます。